

横浜国立大学 大学院 副専攻プログラム

地域創造科目

Yokohama National University Graduate sub-major program
Creative education program about local problems

シラバス 2024
2024 Syllabus

YOKOHAMA

最新の詳細情報は下記サイトをご確認ください。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>

オリエンテーション
4月16日（火曜）
12:10-12:50



場所：建築学棟(N5-3棟) 1F 大会議室

修了者からのメッセージ

Shunnosuke NAGASE
長瀬 駿之介

理工学府 機械・材料・海洋系工学専攻
海洋空間システムデザインユニット
航空宇宙工学教育分野

- コア科目： 地域創造論
- 専門型関連科目：沿岸域管理の法制度
海洋政策と法制特論
リスクマネジメントと社会技術
リスク社会とコミュニケーション
- 実践型関連科目：人文地理学演習Ⅰ



「自身の専門(航空宇宙・ドローンシステム)を、ローカルな社会課題解決に活かしていく力を身につけたい」という想いから、地域交流科目(学部)・地域創造科目(修士)を受講させて頂きました。地域創造科目では、社会課題へのアプローチ手法に関する具体例を通した実践的なレクチャーを受講することができ、バックグラウンドの異なるメンバーと共に地域課題の調査から解決まで、一連のプロセスを実践する協同ワークを経験できました。そして、副専攻プログラムの履修を通して、「専門の講義だけでは習得できない統合的な視野」と、「それに基づきつつ自身の専門性を活かしていく実践的な課題解決力」を身につけることができました。

ブックレット

HP (<http://chiki-ct.info>)からダウンロードできます。

地域創造論 Vol.3

～地域はどう変わるか 2010年代から2020年代に向かって～

大学院の副専攻プログラムのコア科目として開講されている「地域創造論」の、2018年から2020年度のテーマは、「地域はどう変わるか 2010年代から2020年代に向かって」でした。本著は、その講義録をまとめたものです。



政策科学と政策形成 小池 治 / 持続可能な都市とモビリティシステムー COI プログラムによる横浜国立大学の取り組みー 有吉 亮・西岡 隆暢 / 都市におけるエネルギーリテラシー 澁谷 忠弘 / フラットで双方向的な世界へ：「地域間協力（連携）」の構想と取り組み 佐藤 峰・奥井 利幸 / 震災とコミュニティ大熊町を事例としてー 吉原 直樹 / SDGs 未来都市・横浜の挑戦と「ヨコハマ SDGs デザインセンター」のこれから 信時 正人 / 2035 年に当たり前に木材のある社会を目指して 井上 博成 / 2020 年代に向けた大学と地域ー羽沢横浜国大駅開業を前に 高見沢 実 / 2020 年代に向けたヘリテージマネジメントの課題 大野 敏 / 地域創造と EBPmー森林の多面的機能を事例にー 小池 治 / SDGs 達成に向けた県の施策形成 清水 信宏 / 地域経済とまちづくり (ディスカッション) 氏川 恵次・池島 祥文・伊集 守直・志村 真紀 / モビリティーMaas+デジタル化による地域像+コロナー 中村 文彦 / エネルギー環境と都市 (ディスカッション) 吉田 聡・野原 卓・田中 稲子 / 新型コロナと都市計画：「新近郊」論に向かってー新型コロナ感染後の新たな社会を展望するー 高見沢 実

『地域創造科目』の概要

全体概念

現代社会において、経済格差や教育格差の拡大、工業倫理の低下や環境問題の深刻化など、住民生活の継続や地域社会の存続に支障をきたし始めています。これらの諸課題は複雑に関連しつつ、事態を深刻化させていることから、社会、教育、工学、環境など各視点から諸課題を検討し、人々が安心して豊かな生活を営めるような地域を創造することが求められています。

本プログラムは、複雑で解決困難な地域課題に対して、各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながらも、学際的な課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できるような人材を育成するための高度な教育プログラムです。

General overview

In modern society, issues such as the increase of economical and education gaps, decrease in industrial ethics and intensification of environmental problems are beginning to interfere with the sustainability of local residents' lifestyles and continued existence of the local community. These various issues are complexly interwoven with one another, intensifying the situation and as such, need to be investigated from individual aspects such as society, education, engineering, the environment and so forth, in order to create a community in which people can lead rich lives with peace-of-mind.

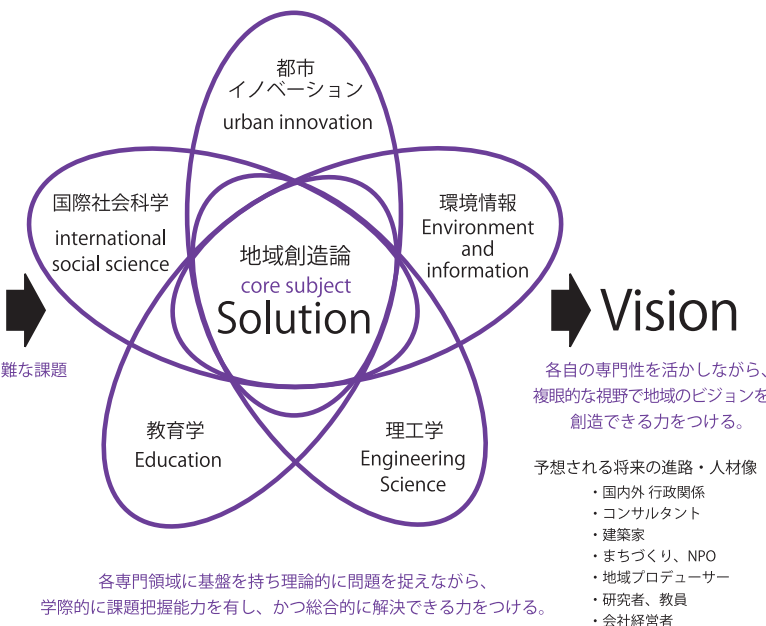
Towards complex, intractable community issues, this program takes a theoretical approach from the individual fields of expertise, and is a sophisticated educational program which aims to produce individuals who possess the ability to appraise issues from an interdisciplinary approach and propose comprehensive solutions.

*副専攻プログラムとは：

知識基盤社会が求める総合性・学際性への対応、また学生からのニーズへの対応として、自ら所属する専攻以外の分野を系統的に学習するプログラムです。

*About sub-major program:

Responding to the comprehensive and interdisciplinary abilities sought by a knowledge-based society as well as responding students' needs, this program enables the systematic learning of fields other than one's own affiliated major.



複雑で解決困難な地域課題を題材に

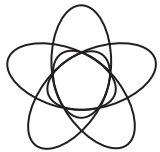
各専門分野の活かし方を発見し開拓するプログラム

This program trains students to find and develop their own specialties in the local subject in which solutions are complicated and difficult.

横浜国立大学 地域連携推進機構 地域実践教育研究センター
Yokohama National University
Organization for Local Collaboration Networking Global-Local Education and Research Center



「履修申請の流れ」



「オリエンテーション」

4月16日（火）12:10-12:50

対面：建築学棟(N5-3棟) 1F 大会議室

地域創造科目の説明・相談を行います。
履修する予定の人、関心・質問がある人は参加して下さい。

詳しくは下記サイトの情報をご確認ください。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>



「履修登録」

・必修コア科目「地域創造論」
・関連科目（各自が在籍する学府・研究科の開講科目から基本的には選択する。*注）

*注：関連科目の履修にあたり、提供形態①の科目については、当該科目担当教員の許可は必要ありません。（ただし、履修者が多い場合は制限する可能性があります。なお、自分が所属する学府・研究科以外の科目を履修する場合は、所属する学府・研究科での手続きが必要な場合があります。（履修案内等で確認してください。）

地域創造科目「参画登録申請」フォームへの申請

申請書メット：4月8～24日 or 10月1～25日

☆副専攻プログラムとして受講し、修了認定を得る場合には、地域創造論が始まる前に下記の申請が必要です。

「参画登録申請」フォームについては、
下記の地域実践センターのWEBサイトにリンクされています。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>

「地域創造科目」8単位以上

『地域創造科目』は、「参画登録申請」を申請した者を対象に、下記の修了要件を満たした者に対して、修了認定が行なわれます。
修了要件：①必修コア科目「地域創造論」2単位、②「関連科目」の「専門型関連科目」2科目以上4単位以上、および「実践型関連科目」1科目以上2単位以上、これらの合計8単位以上。

必修コア科目

地域創造論

1科目2単位

*重複不可

+

関連科目

専門型関連科目

2科目4単位以上

実践型関連科目

1科目2単位以上

➡

修了認定

副専攻プログラム

地域創造

・主専攻のカリキュラムに掲載されている副専攻科目は主専攻の卒業要件に含むことができます。ただし都市イノベーション学府の学生が「地域創造論」を本副専攻の科目として履修した場合は主専攻の卒業要件に含むことができません。
★都市イノベーション学府の学生：修了必要単位 30単位+2単位（地域創造論）=計32単位の取得が必要です。
☆都市イノベーション学府以外の学生：各学府・研究科の修了必要単位の中に地域創造論2単位を含めてください。

「修了認定」

・副専攻の修了認定は「参画登録申請」を申請した方を対象に、修士課程2年の修了時に修了認定がされます。
・必要単位の取得状況は、修了式前の時期に事務局が学務を通じて確認します。
・短縮卒業や留年後の卒業、長期履修制度による卒業など、卒業時期が通常と異なる場合には卒業3ヶ月前までに地域実践教育研究センターにお知らせください。
・成績証明書の特記事項欄には「副専攻プログラム（地域創造）修了」と記載されます。

・実践型関連科目を「その他」の「独自に参画する実践性の高い活動」で単位認定を受ける場合は、（様式2）地域創造科目 実践型関連科目「その他」認定申請書と、活動内容について記した「レポート（A4版1枚ほど）」の提出が必要です。様式2の申請書はWEBサイトからダウンロードしてください。

レポートの提出 メット：8/23（9月修了の場合）
2/14（3月修了の場合）
*提出先：地域実践教育研究センター（chiki-ct@ynu.ac.jp）

コア科目「地域創造論」

＊秋学期に開講
月曜日 4 限
場所：建築学棟 (N5-3 棟) 8F スタジオ

1. 授業の目的

複雑で解決困難な地域課題を創造的に解決する方法を開拓する。

地域創造学を既往の学問領域の中で位置づけたうえ、本講義の構成・内容、およびグループワークの方法等につき解説する。これを受けて、各専門領域から現代の地域課題をどうとらえているか、また、その解決に向けたアプローチや考え方はいかなるものか等につき、事例や先進的試み等を織り交ぜながら講義する。その後、専門の違う者同士でグループを組み、与えられた地域課題をめぐって現地スタディー、データ分析、ディスカッション等を行う。成果は最終回に発表し、総合討議を行なう。

2. 授業の構成

地域創造学と既往の学問領域のおおよその位置づけを知る

イントロダクション：地域創造学の規範と専門領域との関係、テーマ設定

各専門領域から捉えた地域課題とその解決に向けた多様なアプローチや考え方を知る・探る

各専門領域の教員等による講義
社会科学、自然科学等の各専門分野から、設定された共通の地域課題をテーマに関連する最新の話題を提供。

討論
受講生の現状の各見地から発言、各専門知の存在に気づく。

地域創造に向けた専門知の活かし方に気づく・探る

グループワーク
学生間で学際的なグループをつくり、各自の専門性を活かしながら、地域のビジョンを創造し議論を行う。

最終レポート
自らの専門知や他の専門知を活かして設定課題をどう解くかを論述。

総合討論
最終レポートに基づき互いの専門知の活かし方や接点を探る。

講義の様子

グループワークの様子

休講あるいは閉講の科目

部局	時間割コード	科目名	単位数	教員名	開講学期	曜日	時限	教室／開催方法	提供形態	カテゴリ	備考/学環時間割コード
国社	PC12108	民事訴訟法特論	2	西川 佳代	秋期（第4.5）	火	3		①	専	R6年度休講（奇数年度開講）
	PC12520	倒産・執行法研究Ⅰ	2	西川 佳代	春期（第1.2）	火	3		①	専	R6年度休講（奇数年度開講）
	PC11525	開発協力論研究Ⅲ	2	小林 誉明	秋期（第4.5）	木	3		①	専	R6年度休講（奇数年度開講）
都市	RA00033	持続型集住計画論	2	藤岡 泰寛	春期（第1.2）	金	2		①	専	R6年度休講（奇数年度開講）
	RA00009	地域・都市環境管理論	2	佐土原 聡	春期（第1.2）	火	2		①	専	
理工	NB10031	触媒化学	2	窪田 好浩 他	春期（第1.2）	木	5		③	専	R6年度休講（奇数年度開講）

休講

「地域創造科目」一覧

・カテゴリ：必＝必修科目 / 専＝専門型関連科目 / 実＝実践型関連科目
・提供形態：①すべての大学院学生が履修可能な授業科目 / ②すべての大学院学生が履修可能な授業科目であるが、履修するための前提条件が付された授業科目 / ③所属大学院学生のみが履修可能な授業科目

部局	時間割コード	科目名	単位数	教員名	開講学期	曜日	時限	教室／開催方法	提供形態	カテゴリ	備考/学環時間割コード
大学院全学教育科目	9GC2101	地域創造論	2	志村 真紀 他	秋期（第4.5）	月	4	建築8Fスタジオ	①	必	
	RC00060	地域創造論	2	志村 真紀 他	秋期（第4.5）	月	4	建築8Fスタジオ	①		
	UC07008	地域創造論	2	志村 真紀 他	秋期（第4.5）	月	4	建築8Fスタジオ	①		
	9GC3201	神奈川県を取り組む技術課題	2	為近 恵美	秋期（第4.5）	水	3	工A-301	②		「イノベーション…」Ⅱは履修者のみ、ⅢはⅡの履修者のみ履修可能/「神奈川…」は、理系の素養があることを前提
	N000171	神奈川県を取り組む技術課題	2	為近 恵美	秋期（第4.5）	水	3	工A-301	②	専	
	UC12015	神奈川県を取り組む技術課題	2	為近 恵美	秋期（第4.5）	水	3	工A-301	②	専	
	9GC1101	統合的海洋管理学Ⅰ	2	鈴木 崇之 他	春期（第1.2）	月	4	環1-305	①	専	<学部4年次履修可>
	9GC1102	統合的海洋管理学Ⅱ	2	鈴木 崇之 他	秋期（第4.5）	月	4	環1-305	①	専	
	9GC1201	沿岸域管理の法制度	2	加々美 康彦	春期集中	集中		遠隔	①	専	
	9GC1202	海洋政策と法制特論	2	中原 裕幸	秋期（第4.5）	水	4	済202	①	専	
	9GN1201	リスクベースによる規則制定手法	2	吉田 公一 他	秋期（第4.5）	金	4	工A-306	①	専	<学部4年次履修可>
	NA30114	リスクベースによる規則制定手法	2	吉田 公一 他	秋期（第4.5）	金	4	工A-306	①	専	
	UC05023	リスクベースによる規則制定手法Ⅰ	1	岡田 哲男 他	第4ターム	金	4	工A-306	①	専	
	UC05024	リスクベースによる規則制定手法Ⅱ	1	岡田 哲男 他	第5ターム	金	4	工A-306	①	専	
	9GN1202	海洋産業特論	2	田村 兼吉	春期（第1.2）	火	4	海洋302	①	専	<学部4年次履修可>
	NA30121	海洋産業特論	2	田村 兼吉	春期（第1.2）	火	4	海洋302	①	専	
	9GC4101	リスクマネジメントと社会技術	2	竹花 立美 他	秋期（第4.5）	金	4	環境1-305	①	専	
	9GC4201	リスク社会とコミュニケーション	2	熊崎 美枝子	春期（第1.2）	集中		併用（対面系）	①	専	
	9GP0201	地域経済政策特論	2	居城 琢	秋期（第4.5）	水	2	教室未定	①	専	<学部4年次履修可>
	PAB4015	地域経済政策特論	2	居城 琢	秋期（第4.5）	水	2	教室未定	①	専	
	UC08034	地域経済政策特論	2	居城 琢	秋期（第4.5）	水	2	教室未定	①	専	
	PAB4012	地方財政学	2	伊集 守直	春期（第1.2）	火	3		①	専	UC08029、UC08030
国際社会科学	PAB4019	農業政策特論	2	池島 祥文	秋期（第4.5）	火	2		①	専	UC08040
	PB22006	生態会計特論	2	曹 勁	秋期（第4.5）	火	5		③	専	UC04001、UC04002
	PC11023	開発協力論研究Ⅰ	2	小林 誉明	春期（第1.2）	火	4		①	専	
	PC11024	開発協力論研究Ⅱ	2	小林 誉明	秋期（第4.5）	火	4		①	専	R6年度開講（偶数年度開講）
	—	演習Ⅰa（対象は特定教員の6クラス）	2	各教員					③	実	学府の許可する学生のみ受講可能
	—	演習Ⅰb（対象は特定教員の2クラス）	2	各教員					③	実	学府の許可する学生のみ受講可能
	—	演習Ⅱ（対象は特定教員の2クラス）	2	各教員					③	実	学府の許可する学生のみ受講可能
理工	NB20151	リスク分析論	2	陶山 貢市 他	春期（第1.2）	火	3	工A-101	①	専	
	NB20114	エネルギーバリューチェーンシステム概論	2	麦倉 良啓	秋期（第4.5）	金	1	エネ501	①	専	
環境情報	H320331	環境法Ⅰ	1	及川 敬貴	第1ターム	月	2	都市202（調整中）	①	専	UC06017
	H220621	地域政治経済システム論	1	遠藤 聡	第1ターム	火	2	総S512-3	①	専	UC08095
	H220634	地域発展政策論	1	遠藤 聡	第4ターム	火	3	総S512-3	①	専	UC08096
	H320072	ユネスコエコパークや関連制度を活用した境共生型地域の創出	1	酒井 暁子	第2ターム	水	2	理工A102	①	専	UC04028
	H220011	ライフサイクルアセスメントⅠ	1	本藤 祐樹	第1ターム	水	2	総S511	①	専	—
	H220052	ライフサイクルアセスメントⅡ	1	本藤 祐樹	第2ターム	水	2	総S511	①	専	—
	H220434	社会老年学Ⅰ	1	安藤 孝敏	第4ターム	月	2	総S511	①	専	UC11029
	H220465	社会老年学Ⅱ	1	安藤 孝敏	第5ターム	月	2	総S511	①	専	UC11030
	H320115	外来生物問題を解決するモデルと社	1	小池 文人	第5ターム	木	4	環1-301	①	専	UC04027
	RC00041	都市居住環境論	2	野原 卓 他	秋期（第4.5）	水	1	都市206	①	専	UC07007
	RC00061	越境社会と地域	2	長谷川 健治	秋期（第4.5）	木	3	国際教育106	①	専	UC12016、UC12017
	RC00051	グリーンビルディング・コミュニティ計画論	2	田中 稲子 他	秋期（第4.5）	木（保通）	5～6	都市204	③	専	UC07009
都市イノベーション	RB00031	地域計画論	2	松行 美帆子	春期（第1.2）	水	2	工A-302	①	専	R2年度以降入学者対象（旧科目：RB00214）
	RB00214	地域計画論	2	松行 美帆子	春期（第1.2）	水	2	工A-302	①	専	H31/R1年度以前入学者対象（新科目：RB00031）
	RB00204	途上地域発展論	2	藤掛 洋子	秋期（第4.5）	火	3	建築8Fスタジオ	①	専	担当教員 奇数年度：佐藤 偶数年度：藤掛/UC09034
	RB00015	都市基盤政策論	2	安部 遼祐	春期（第1.2）	木	3	都市106	①	専	R3年度以前入学者対象
	RB00033	都市交通計画論	2	安部 遼祐	春期（第1.2）	木	3	都市106	①	専	R4入学者より/UC07026
	RPSJ205	環境都市デザインスタジオS	4	野原 卓 他	春期（第1.2）	火・金	3～4	工学基礎2F会議室	③	実	UC07019
	RPSJ203	建築理論スタジオS	4	大野 敏 他	春期（第1.2）	火・金	3～4	建築8Fスタジオ	③	実	UC07024
	RPSJ204	建築理論スタジオF	4	大野 敏 他	秋期（第4.5）	その他	3～4	建築8Fスタジオ	③	実	UC07025
	RPSJ225	都市基盤スタジオ2	2	細田 暁 他	春期（第1.2）	火	6	教員室／対面	③	実	H30年度以降入学者対象
	RPSJ226	都市基盤スタジオ2	2	細田 暁 他	秋期（第4.5）	火	6	教員室／対面	③	実	H30年度以降入学者対象
理工	RPSJ223	都市基盤スタジオ4	4	細田 暁 他	春期（第1.2）	火	6	教員室／対面	③	実	H30年度以降入学者対象
	RPSJ224	都市基盤スタジオ4	4	細田 暁 他	秋期（第4.5）	火	6	教員室／対面	③	実	H30年度以降入学者対象
その他		独自に参画する実践生の高い活動	(2)						①	実	※1

※1：独自に参画するボランティアや学部生向けの地域交流科目「地域課題実習」のプロジェクトのマネジメント等の実践性の高い活動については、審査の上、当プログラム上のみ独自認定（2単位相当）する。ただし、正規単位ではない。